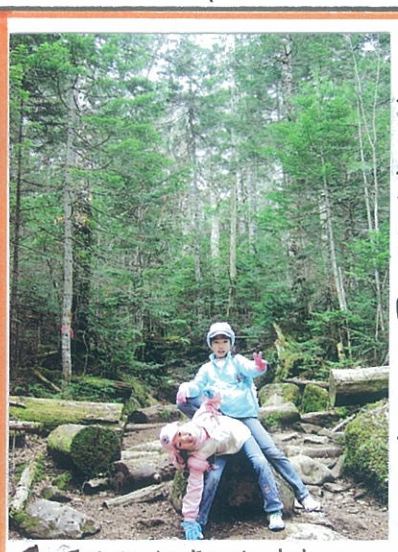
地球温暖化を防げ もり 森林を守ろう新聞

きれいに見える森のうらがわは…

私たちは 家族で山登りをしています。頂上から下の景色を見ると、緑の森が広がってとてもきれいです。でも、その森の中には切りたおされた木がそのままあって、頂上から見た景色とはちがっていました。



↑切りたおされたままの木の正体は…

切りたおされたままの木の正体は間ばつ材

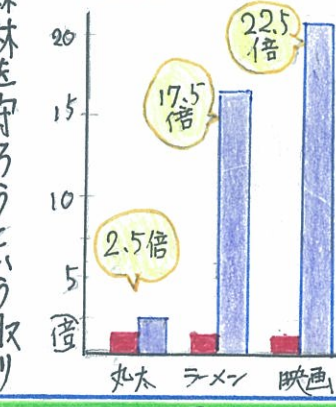
長野県地方事務所の林務課さんで話を聞きました。

長野県は、面積の約80%が森林です。昔は林業がさかんで、佐久地方は特に、カラマツを育てるのに適していたので、たくさん植えられました。良い木を育てるために間ばつをします。切りたおされていた木は、間ばつによって切られた木でした。昔は、切った木を色んなことに使ったけれど、今はそのままにしています。運ぶのが大変だったり、使いみちがみつからないからだそうです。

森林が地球温暖化を防ぐ

地球温暖化の原因はCO2がふえているからです。森林は空気中のCO2をすいこんで、私たちに必要な酸素を出してくれるので地球温暖化防止のためにも森林を守ってとても大切です。

でも、今、森林を守ることは大変です。40年前カラマツを植えたときは木が高く売れると思っていました。でもそうはなりませんでした。切った木を売ってもうかるお金より、木を切って運び出す方がお金がかかるようになってしまい、山の手入れができなくなってしまいました。



でも、森林を守ろうという取り組みは始まっています。

長野県では、県が森林の里親制度というのを実っしています。お金がなかったり、して手入れができない山を企業さんに里親になってもらって森林整備のお金を出してもらったり、森林へ行って森林作りのお手伝いをしてもらう制度だそうです。

すごいぞ!! エコロジーバンク82

県の人から、八十二銀行が「森林の里親」になっていると聞き、取材させてもらいました。

Q 何でお金になるないのに協力しているのですか。

A 自分たちのことだけでなく、企業の社会的責任として環境活動をしています。森づくりでは、美ヶ原県民の森の整備をしています。ボランティアで森の手入れに行ったり、整備のためのお金も出しています。

Q 他にどんなエコ活動をしていますか。

A 平成17年から、書類などの紙を再生し、トイレットペーパーにしたり、マイカー通勤を禁止したり、キッズISOという小学5年生を対象にした環境教育もしています。平成21年には、金ゆう界で初めてエコ通勤優良事業所に登録されました。

Q エコ活動を通じて伝えたいことはありますか。

A エコ活動は地道な活動です。どちらかと言うと人がいやがる、面どくさがることが多いけどその積み重ねで50年後100年後は大きく変わります。やはり小さいことでもコツコツ続けていくことが、とても大切だと思います。

↑八十二銀行さんの森の整備の様子

八十二銀行の宮島さん

2005年「地球温暖化防止活動環境大臣賞」受賞（銀行界初）

2007年「日本環境経営大賞 環境経営優秀賞」受賞

2009年
- 「長野県森林CO2吸収・評価・認証制度」第1号に認定
- エコ通勤優良事業所に認定（金ゆう界初）

発行人
橋部 萌野
橋部 綾野

クマが出たぞ

クマやイノシシ・シカが里に来て、殺されています。どうして里に来るようになったのか、県の人に聞いてみました。

私たちは、エサがなくなったせいだと思っていたけど、本当は人が山に入らなくなって、山が荒れて、動物がかくれる場所がふえて、住む場所も広がって、動物と人間の住むところのさかいがなくなってきたことが原因だとわかりました。

エコのヒーロー カラマツストーブ

カラマツは、ふつうのまきストーブで、もやすと温度が高くなりすぎて使えません。

でもカラマツストーブは、2000度までたえられます。

佐久穂町役場のカラマツストーブ。まきは町の山でとれた間ばつ材。とう油の量が40%減ったそうです。

山の手入れでいいこといっぱい

- 間ばつ材をまきにすれば灯油が減る
- 間ばつされなかった木は、根っこを張って災害を防いでくれる
- 間ばつ材から、水素やバイオエネルギーがとれる!?（研究中）

森を守る活動に参加

重い でも少しはきれいになったかな?

森は「命」です

私は、長野県林務部の方が言っていた、「人が山に帰る」という言葉が心に残りました。なぜなら、昔はもっと人が山へ行ってしばかりや、山の実をとりに入っていたから、山は荒れなかったし、クマも人がいるから、出てこなかったんだなと思ったからです。

私は、山がたくさんある所に住んでいるのに、山登り以外では山には行きませんでした。でも今回の取材で、八十二銀行さんの取り組みを聞いたり、自分でも山の整備に参加してみてわかったことは、山の手入れをするといい事がたくさんあるということです。今まで切りたおされてくさっていた間ばつ材（くさる時、CO2が出てしまいます）が有効利用できます。灯油などのかわりにまきとして使うことで、CO2のさく減になります。そして今後は間ばつ材から新しいエネルギーが生まれるかもしれません。

また、間ばつをされず残った木はりっぱな木となり、CO2をたくさんすってくれます。クマや他の動物にとっても、自分たちが安全に住めるところに引っこして安心してくらしていけます。

山の手入れをすることは、動物の命も、私たち人間の命も、森の命も、地球の命も守ることにつながります。森林は私たちの命だから、大切に守っていきたいと思います。